

豊平区実施プラン 2009

～「市民が主役のまちづくり」を目指して～



豊平区長 にきかずしげ
二木一重

このたび、4月1日付で豊平区長に就任いたしました。
豊平区は、札幌開祖といわれる志村鉄一が定住したことに始まり、約150年の歴史があります。また、「札幌ドーム」や「きたえーる」など近代的なスポーツ施設を持つ一方で、豊かな自然を有する、非常に魅力的なまちであります。
私は、これらの地域の個性を活かしたまちづくりを進めるとともに、区民の皆さまから信頼される区役所を実現できるよう、努めてまいります。
今月は「豊平区実施プラン2009」を紹介しますが、これからも広報さっぽろをはじめ、さまざまな機会を通じて、皆さまの役に立つ情報を提供してまいります。

◎ 取組姿勢

札幌市では「自分たちの地域のことは自分たちで考え、決め、そして行動していく」ことを目指しています。

そこで豊平区では、区役所が最も市民に近い立場であることを強く認識し、『情報共有』と『市民参加』を進めることにより、「市民が主役のまちづくり」を実現するためのさまざまな取り組みを行います。

◎ 目標

地域の個性を活かしたまちづくり

平成10年1月に策定した「とよひら・未来21」では、区民、企業、町内会、商店街、大学などの幅広い参画により、「ふれあいを大切にするまち」「自然豊かな文化の香るまち」を豊平区のまちの将来像としています。

その実現に向けて、豊平区の恵まれたさまざまな個性を活かしながら、区民の皆さまと、共に考え、共に地域の課題解決に取り組めます。

豊平区実施プラン

- 区の恵まれた個性を活かす
- 区民の皆さまと共に考え、取り組む

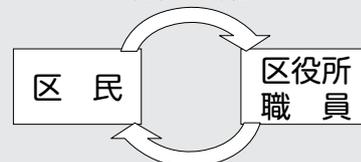
区民に信頼される区役所の実現

まちづくりを進めるうえで大切なのは、「区民と区役所の信頼関係」です。

職員は、区民の皆さまから信頼され、評価されることにより、それを誇りに思い、自信と楽しさをもって仕事を進めることができます。そして、それが、さらに皆さまからの信頼へとつながります。

そのため、コミュニケーションを大事にしたり、適切な情報の提供などを行います。

信頼・評価



誇り・自信をもった仕事



おもしろスノーパーク



フラワーコンサート



地域と創る冬みち事業



地域安全ネットワーク会議